

紀南病院 研修医通信第44号

「3ヶ月を振り返って」 東京大学医学部附属病院 井上貴博

紀南病院での研修はとにかく中身の濃いものでした。病棟では20人前後の患者さんを担当させて頂き、初期対応→診断→入院→治療→退院調整までトータルに医療を経験することができました。内視鏡はこちらにくるまではほとんど触ったこともない状態でしたが、熱心な指導のおかげである程度自信を持てるレベルになり、医師として大きく成長することができた気がします。また今月は地域医療研修センター長である、Dr.奥野が長年勤めておられた神島診療所も訪問し、Dr.コトーを彷彿とする現場で離島診療を経験することもできました。病院から眺める海の眺めは本当に最高で毎日癒されていました。また、来たいなー。



「紀南病院での地域医療研修」 東京大学医学部附属病院 東原崇明

京都・奈良・大阪には行ったことがありますが、三重県には一度も来たことがなく、今回の研修を利用して研修をさせて頂きました。

紀南病院の地域医療研修を通じて大学病院とは違い、医師数が少ない中でやりにくい医療体制や、診療所・訪問診療を始めとした地域に根差した医療を体感しました。病棟管理・救急外来ではほとんどが高齢者で治療の難しさや、退院調整の大切さを実感しました。診療所を訪問し、外来・訪問診療の経験をさせて頂いたり、消防署見学では119番通報の現場を見て、タウンミーティングでは地域住民とふれあい普段抱えている健康や病気に対する悩みを聞き、故郷訪問で実際に患者さんが住んでいる地域を訪問しました。

今回の地域医療研修を通じて、その地域に合わせた医療を提供するのが「地域医療」なんだと改めて実感し、地域住民とふれあい、地域住民の暖かさや活力を感じました。また、住んだことのない町に住むという、貴重な体験をさせて頂きました。

1ヶ月間と短い間でしたが、指導医の先生方をはじめ医療スタッフの皆様方、環境を手配して頂いた事務の方々、今回のような充実した地域医療研修をさせて頂き感謝しております。

本当にありがとうございました。

2014年3月号

(発行日 平成26年3月31日)

